

箱根の交通情報を一元化し、混雑情報の発信を開始

箱根エリアの混雑・渋滞回避を促し快適な箱根回遊の促進を目指します

～神奈川県「混雑緩和に係る新たな観光モデル創出推進事業」として取り組みます～

箱根 DMO（一般財団法人箱根町観光協会）は、2021年1月25日より、小田急箱根グループ、伊豆箱根グループ、藤田観光株式会社、公益財団法人神奈川県公園協会と連携し、道路混雑情報や大涌谷駐車場の満空情報などを観光ウェブサイトやデジタルサイネージ上で一元的に情報を発信する取り組みを開始します。

本事業は、神奈川県が新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、接触を避け快適で満足度の高い観光を目指すために「混雑緩和に係る新たな観光モデル創出推進事業」として、箱根 DMO が受託し実施するものです。

主な事業内容としては、箱根エリアで特に渋滞が発生する国道1号線の渋滞情報や大涌谷駐車場の満空情報および待ち時間などの発信のほか、小田急箱根グループと伊豆箱根グループの運行情報表示デザインを統一化し視認性を高め、箱根 DMO が運営する観光サイト「箱根全山」やサイネージ上での情報を発信し、来訪者の渋滞回避および密を回避し混雑の少ないルートへ回遊促進を図っていきます。

《主な事業内容》

- (1) バスロケーションシステムを活用した宮ノ下～箱根湯本（国道1号線）の所要時間の情報発信
- (2) 大涌谷駐車場の満空情報と待ち時間の情報発信
- (3) AI カメラ(混雑検知カメラ)を活用した混雑情報収集の効率化
- (4) 小田急箱根グループと伊豆箱根グループの運行情報を統一デザインに集約
- (5) 箱根 DMO ホームページにおける道路交通情報の統一化および情報発信
- (6) 箱根小涌園ユネッサン館内のサイネージ設置および情報発信



箱根全山スマートフォン版（イメージ）



箱根全山ホームページ（イメージ）

「混雑緩和に係る新たな観光モデル創出推進事業」の概要は下記のとおりです。

- 1 事業テーマ 箱根の混雑情報の発信
- 2 実施開始 2021年1月25日(月)～
- 3 対象エリア 箱根エリア
- 4 制作会社 ・ジオルダン株式会社(箱根交通情報システム、管理画面構築)
・株式会社カンドウコーポレーション(箱根DMOホームページ、スマートフォンサイト制作)
- 5 事業内容

(1) バスロケーションシステムを活用した宮ノ下～箱根湯本(国道1号線)の所要時間の情報発信

箱根エリアで特に渋滞が発生しやすい宮ノ下～箱根湯本(国道1号線)の所要時間を、箱根登山バスが運用するバスロケーションシステムを活用して収集し情報を発信します。さらに、混雑時に公共交通機関および一般道路の代替ルートを表示させ道路渋滞の回避を促すほか、周辺の滞在スポット情報を案内することで、自家用車を利用する来訪者は待機時間を有効活用することが可能となります。また、小田急箱根グループの主要駅に設置している運行情報ディスプレイ「インフォビジョン」上においても情報発信いたします。 スマートフォン版イメージ▶



(2) 大涌谷駐車場の満空情報と待ち時間の情報発信

観光名勝の大涌谷へ向かう大涌谷三叉路から県道734号線、大涌谷園地にかけては慢性的な渋滞や駐車場の許容オーバーが発生していることから、満空表示システムの導入および係員による入力管理画面を整備しWEB上での情報発信を行います。さらに、箱根ロープウェイ早雲山駅・姥子駅・桃源台駅の駐車場情報を表示させ箱根ロープウェイへ乗り換える代替ルートを提案し、道路渋滞、混雑緩和および来訪者の待ち時間の不満解消に繋がります。

スマートフォン版イメージ▶



(3) AIカメラ(混雑検知カメラ)を活用した混雑情報収集の効率化

箱根ロープウェイの早雲山駅において、AIカメラ(混雑検知カメラ)を導入し、従来、係員の目視およびシステム入力により収集していた混雑情報をカメラの画像解析により自動的に収集できるように改善し、混雑・密の回避を促進させます。

AIカメラ(混雑検知カメラ)設置箇所の早雲山駅舎内▶



(4) 小田急箱根グループと伊豆箱根グループの運行情報を統一デザインに集約

伊豆箱根グループの「伊豆箱根バス」「芦ノ湖 遊覧船」「箱根 駒ヶ岳ロープウェー」の運行情報を小田急箱根グループの交通情報デザインに統一し、視認性の高いデザインで情報発信を行います。



小田急箱根グループ運行情報



伊豆箱根グループ運行情報

(5) 箱根 DMO ホームページにおける道路交通情報の統一化による情報発信

箱根 DMO が運用する WEB ページ「箱根全山 (<https://hakone.or.jp>)」内の箱根交通情報ページ (<https://www.hakone.or.jp/roadinfo/>) をリニューアルし「箱根交通情報」「一般道路規制情報」「公共交通運行情報 (小田急箱根グループ・伊豆箱根グループ)」のコンテンツに分けて本事業の情報発信を行います。従来、公共交通会社ごとに分割されていた情報を一元化するほか、ページデザインの統一化、スマートフォン対応することで、見やすく操作性を高め視認性を向上させます。



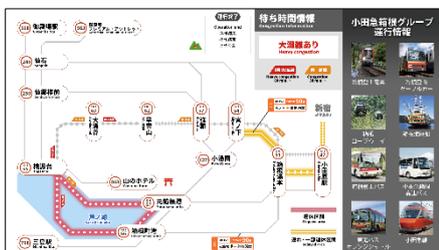
従来のホームページ



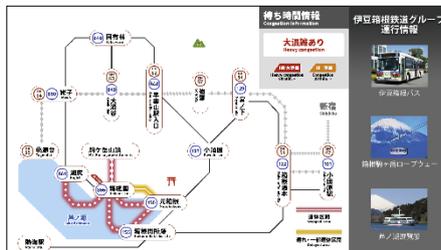
デザインが統一されたホームページ

(6) 箱根小涌園ユネッサン館内のサイネージ設置による情報発信

箱根登山バスと伊豆箱根バスの路線バスが停車するほか、芦ノ湖や大涌谷、箱根湯本などへアクセスできる立地として来訪者が多い「箱根小涌園ユネッサン」の館内にサイネージを設置し、本事業内容の情報発信を行い道路交通情報の可視化、渋滞回避の検討や代替ルートの回遊促進を図ります。



サイネージ画面イメージ (小田急箱根グループ・伊豆箱根グループ)



設置イメージ

